



高岡
北
ロータリークラブ
TAKAOKA-NORTH
ROTARY CLUB



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

例会日・毎週月曜日 12:30～13:30
例会場・ホテルニューオータニ高岡

創立・1980年5月19日
認証・1980年6月12日
国内創立順位・1489

会長 新原 俊夫
幹事 片岡 長司
会報委員長 荒木 信幸

第1843回 例会 3月14日(月)

◇点 鐘 新原会長

◇ソング “奉仕の理想”

◇ゲスト並びにピシターの紹介

ゲスト：高岡向陵高等学校インターアクトクラブ

インターアクター 澤田 麻結 さん

// 伊東 結咲 さん

顧問教諭 クリス・ブラウン 様

米山記念奨学生 イクバル・トゥーバ 様

◇会長挨拶並びに報告

皆さんこんにちは。今日はインターアクト委員会担当の例会です。高岡向陵高校インターアクトクラブの生徒さんに活動報告をしてもらいます。よろしくお願ひします。

報告は、地区のほうからウクライナへの支援としてDDF寄贈を10,000ドル以上をするということです。今までの繰越金から約100万円を地区から寄付するそうです。

キエフはウクライナの首都で12のロータリークラブがあるそうです。

また、米山記念奨学生のカウンセラーに八塚会員を任命し、2名となりました。よろしくお願ひします。

4月9日ですが、高岡地区の合同親睦ゴルフ大会が高岡カントリーで開催されます。ゴルフ同好会の皆様、参加をよろしくお願ひいたします。

◇幹事報告

- 次回3月21日(月)は法定休日のため休会となっております。また、再来週3月28日(月)例会は、高岡西RCとの合同例会を変更し、親睦委員会担当の短縮例会(弁当配布)となります。ご確認ください。
- 配布：①4/11(月)観桜例会のご案内
- 回覧：①会報NO.25
②4/9(土)開催「第31回高岡地域5RC合同ゴルフ大会」の出欠確認表
③5/14～5/15開催「地区大会」の出欠確認表

◇ニコニコBOX報告

新原会長：高岡向陵高等学校インターアクトクラブの生徒さん、顧問のブラウン先生、活動報告よろしくお願ひいたします。吉谷委員長もよろしく！

勝山 功君：誕生日祝いを頂きました。81才になります。

吉谷奈艶子君：今日は、私の誕生日にこのような場を設けていただき誠にありがとうございます。

今晚、私の誕生日を祝って高岡のどこかで花火が上がるそうです。楽しみにしててください。

あと、梨紗子が千葉大学へ進学いたしますことをご報告させていただきます。

【今年度ニコBOX累計額 312,736円】

◇出席報告 出席者 24名 メイクアップ済 0名

名誉会員	会員数	本日の出席率	2/28例会 修正出席率
1名	35名	85.71 %	82.14 %

※内、Zoom出席者0名

◇本日のプログラム(担当：インターアクト委員会)

卓話「インターアクト活動報告」

高岡向陵高等学校インターアクトクラブ

インターアクター 澤田 麻結 さん

// 伊東 結咲 さん

顧問教諭 クリス・ブラウン 様

高岡向陵高校インターアクトクラブ(国際部)の伊東結咲と澤田麻結です。よろしくお願ひいたします。

私たち高岡向陵高校国際部は、主に3つの活動を行ってきました。

一つ目はアレッセ高岡という外国ルーツの子供たちを支援する団体と一緒に、中国語やポルトガル語などの外国語での数学の学習動画をを作りました。

私たちは動画編集の経験がほとんどないので、作るのがとても大変でした。しかし、自分たちで編集方法を調べ、工夫してきました。自ら積極的に学ぶ力が養われたと感じました。

私たちは中国語やポルトガル語は全くわからないので、この動画の撮影や編集をしていると、自分が言葉の通じない世界に入ったような感覚になりました。日本におられる、日本語が得意ではない外国人の方は、毎日こんな思いをされているのだということが分かりました。

この活動を通して、外国から日本に来て、言葉が十分にわからない中で、日本の社会に暮らすことの大変さに少し気づくことが出来ました。ぜひ、YouTubeでアレッセ高岡と検索し、私たちが作った学習動画を見てください。

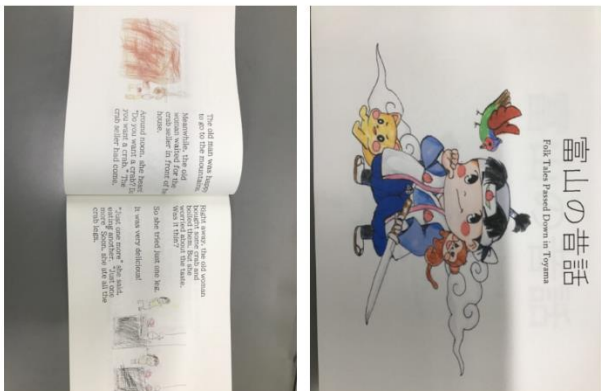


二つ目は、富山の昔話を日本人だけでなく、海外の人にも広めたいと思い、英語に翻訳したことです。

ALTの指導の下、自分たちが持っている英語力を最大限に活かし、楽しみながら制作しました。



11月16日(火)、国際部のメンバー2人は高岡市国際交流センターを訪れ、昨年度から部活動で翻訳してきた「富山の昔話」を職員の方に紹介しました。翻訳した話をまとめた冊子は、センターに置かせてもらえることになりました。なお、表紙は2年の劉さんが、中の絵は地元高岡の小学生が協力してくれました。



中の絵は、地元高岡の小学生が協力してくれました。

この本は、高岡市国際交流センターに置かせてもらっています。

この活動を通して自分の知らなかった英語の言い回しを知ることができ、英語のスキルが少し上がったと感じました。

三つ目は、インターアクト協議会で多文化共生社会をテーマとし、他校の生徒と意見を交換し合うワークショップを開いたことです。

今、日本には290万人ほどの外国籍を持つ方が住んでおられます。日本在住の外国人の方は、言葉や文化の違いで困っておられる方がたくさんおられるということを知りました。

多文化共生社会を築き上げるには、まだまだ乗り越えなければならない課題がたくさんあることが分かりました。

この問題を知ってもらうために、ワークショップでは、インターネットで調べたことだけでなく、自分たちで動画を作ったり、実際に外国にルーツを持つ生徒へのインタビューを交えたりして、わかりやすく伝えられるよう工夫してきました。

そして、調べていくうちに、多文化共生のために自分たちがもっとできることがたくさんあるということに気づきました。

言葉が分からなくても、簡単なコミュニケーションをとることや、お互いの文化や生活様式の違いを理解し、尊重しあうことの大切さを学びました。



私(澤田さん)は将来、看護師を目指しています。外国人の患者さんを担当することもあると思います。そんな時は、その患者さんの文化や生活様式を理解した上で、日本のやり方を押し付けるのではなく、その人自身にあった看護を提供したいと思いました。

私(伊東さん)は将来、幼稚園教諭を目指しています。

もし、園に外国籍の子がいたときに、日本の子と溝ができないように先生側からコミュニケーションを取り、日本の子と外国籍の子の橋渡しになれるような先生になりたいと思っています。

そして、そのために国際部で培った経験を活かしていきたいと思っています。

最後に、国際部での活動で、様々な視点から考えるということをしてきました。前より考え方が深まり、視野が広がったと感じました。

進学後も日本のことだけでなく、世界について更に学びを深めたいです。

国際部で経験したことは将来に役立つことがたくさんあると思いました。